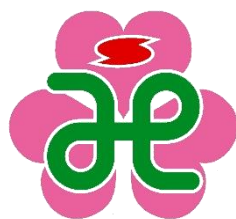


令和 4 年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

事業報告



☆基本方針

すべての住民が自分の住み慣れた地域で
自分らしく生き生きと豊かに暮らせる
ふれあい、助けあい、支えあいのある
住民主体の福祉コミュニティの実現

我が国は、人口減少・少子高齢化等の問題をはじめ、貧困・孤立等制度の狭間で深刻化する多様な福祉課題や自然災害等の発生が重層的に存在しています。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大では、日常生活への不安や地域社会とのつながりを阻む困難さが拡大している状況があります。

こうした状況下、国の施策によって提起された「地域共生社会の実現」をもとに、総社市では、「第2次総社市総合計画」にて、「全国屈指の福祉文化先駆都市の実現」を掲げ、「全国屈指福祉会議」や「復興計画」の策定により、被災者支援とともに、災害に強いまちづくり、経済の活性化と人口増をめざした活気あるまちづくりを通じて様々な先駆的・開拓的な福祉施策に取り組まれています。

そして、本会においても、総社市の施策と連携し、複雑で深刻化する福祉課題に対応するために、①地域支援（地域づくり）、②個別支援（相談）、③在宅支援（在宅生活）の融合による一体的な事業展開をめざして取り組んできました。

特に、住民主体の地域福祉事業を根幹として、課題のある方への包括的な支援体制の構築について重層的支援体制整備準備事業による検討を進めてきました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活福祉資金（コロナ特例貸付）では、コロナ禍での減収・失業などの生活相談に応じ、生活困窮支援センターやひきこもり支援事業等、既存の個別（相談）支援機能を活かした「一人ひとりに寄り添う支援」に取り組んできました。さらに、地域共生社会の実現に向けた「みんなが主役のまちづくり」を掲げ、ボランティアセンター運営委員会の設立により、お互い様による支え合いのまちづくりを推進する取り組みが始まりました。

そして、令和4年度は住民アンケート調査や地区座談会（全世代みんなの会議）で地域ニーズを受け取め、地域課題の解決をめざした「第2次総社市地域福祉活動計画（令和5年～令和7年）」を策定しました。この計画は、今後の地域福祉活動推進の羅針盤となります。計画の実施については、地区社協とも連携し住民主体で推進し、地域課題の解決に取り組めます。

このようにすべての住民の豊かな暮らしを実現するために、「住民主体の地域福祉活動の推進」を担う中核的組織として、その使命と役割を十分に果たす取り組みを進めました。本会はこの状況の中、上記の基本方針に基づき、次の5つの基本活動を基盤に据え、「住民主体の福祉コミュニティの実現」のため、諸事業を推進して参りました。

〈5つの基本活動〉

1. 住民主体の小地域福祉活動の推進
2. 当事者・当事者組織の支援活動の推進
3. ボランティア活動・市民活動（NPO）への支援・連携の推進
4. 相談・生活支援活動の推進
5. 介護予防事業、介護保険関連事業の充実・強化

さらに、地域福祉の推進のために、以下の8つの事業を重点に取り組みました。

☆重点事業

- （1）第2次 地域福祉活動計画の策定
- （2）地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- （3）福祉委員活動の推進
- （4）ふれあいサロン活動の推進
- （5）ボランティアセンター事業の推進
- （6）生活支援体制整備事業の実施
- （7）ひきこもり支援事業の実施
- （8）重層的支援体制整備準備事業による包括的な支援体制の検討

そして、このような事業を推進することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせるノーマライゼーションの実現をめざし、「総社市に住んでよかった」と市民から声上がるような地域福祉を推進しました。

令和4年度に実施した主な事業

1. 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会・監査会の開催

内 容	回	日 程
理事会	第1回	6月 9日(木)
	第2回	11月30日(水)
	第3回	3月 9日(木)
評議員会	第1回	6月27日(月)
	第2回	12月21日(水)
	第3回	3月27日(月)
監査会	年1回	5月20日(金)
評議員選任・解任委員会	年1回	11月30日(水)

(2) 職員の研修

本会職員の専門性の向上、組織力の強化を目的に実施した。

No	日 程	テーマ/講師	参加人数
1	4月22日(金) 25日(月)	「社会福祉協議会5つの原則と社協職員8つの専門性について」 講師：総社市社協 常務理事 佐野 裕二 氏	55人
2	7月28日(木)	「職場におけるハラスメント防止」 講師：大土法律事務所 弁護士 山本 諒平 氏	31人
3	9月 8日(木)	「ヤングケアラーについて」 講師：総社市こども課 木田 美和 氏 佐々木 恵 氏	32人
4	10月27日(木)	「虐待防止と権利擁護」 講師：岡山県社会福祉士会 加藤 貴之氏	30人
5	12月22日(木)	「災害ボランティアセンター設置演習に向けての事前研修」 講師：日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏	31人
6	2月27日(月)	「総社市地域福祉活動計画の策定に向けた共有と検討について」 講師：岡山県立大学 教授 岩満 賢次 氏	28人
7	3月8日(水)	「障がい特性の理解(うつ病)」 講師：こころ診療所 院長 中田 謙二 氏	31人

(3) 社会福祉関係機関、団体との連携

団体の活動費を助成するとともに活動を支援した。

団体名	助成額	団体名	助成額
総社地区保護司会	139,000円	総社介護者の会	158,000円
遺族連合会	272,000円	あゆみ家族の会	37,000円
総社地区更生保護女性会	67,000円	保育協議会	28,000円
身体障がい者福祉協会	443,000円	母子寡婦福祉連合会	193,000円
山手セロリー青葉会	38,000円	民生委員児童委員協議会	90,000円
松寿会	164,000円	ボランティア連絡協議会	250,000円
	合計		1,879,000円

(4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化

厳しい社会情勢の中、自主財源確保のため、随時会費説明会を行い、各地区社協の協力を得て会員の増強に努めた。

- ・会費総額 14,345,300円（昨年度から377,600円減）
- ・加入率 53.1%（前年度 53.8%）

地区名	R4			R3	
	件数	金額	加入率	件数	金額
総社	4,561件	3,624,500円	47.2%	4,604件	3,669,500円
常盤	2,113件	1,769,600円	32.2%	2,082件	1,987,100円
池田	348件	365,000円	67.2%	348件	365,000円
清音	1,628件	1,649,000円	68.8%	1,701件	1,723,000円
三須	890件	907,500円	74.4%	880件	896,500円
服部	641件	667,000円	67.1%	617件	646,500円
阿曾	690件	693,000円	65.5%	726件	729,000円
山手	1,034件	1,032,500円	54.2%	1,024件	1,023,500円
秦	566件	598,000円	76.0%	566件	599,000円
神在	544件	575,500円	72.8%	539件	571,000円
久代	796件	625,100円	61.4%	786件	626,300円
山田	209件	210,000円	74.9%	209件	210,000円
新本	412件	423,100円	73.6%	413件	425,500円
昭和	921件	934,500円	71.7%	947件	962,000円
事務局	124件	271,000円		143件	289,000円
計	15,477件	14,345,300円	53.1%	15,585件	14,722,900円

(5) 社会福祉協議会基盤強化に関する調査、研究

- ① 「第27回岡山県保健福祉学会」研究発表（誌上発表）
【研究テーマ：演題】
「総社市における重層的支援体制の構築に関する検討
～相談支援機関を対象とした調査からみる包括的支援体制の実態と課題～」
- ② 社協会員制度（社協会費）の拡大に向けた調査
（県下社協の取り組み状況を情報収集した。）
- ③ 社協活動の周知・広報を推進するための調査
（県下社協のホームページ・Facebook等の活用方法を情報収集した。）

(6) 広報紙の発行、ホームページの作成と更新

- ① 「みんなのちいきふくし」の発行（年3回（1回あたり26,700部）発行）
【69号】（7月）
特集：地域ニュース from 地区社協（三須・久代・清音）、ふれあいサロン
でのひらまるしえ、ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」
職員紹介、公式SNS紹介、令和4年度事業計画予算
総社市松寿会、総社介護者の会、介護予防拠点施設やすらぎの家 等
- 【70号】（11月）
特集：地域ニュース from 地区社協（昭和・秦・常盤）、子ども食堂
子ども福祉委員、総社市地域福祉活動計画、令和3年度事業報告・決算
各種講座案内、フードリンクプロジェクト、フードドライブ
ハートフルそうじゃ、ひきこもり支援フォーラム 等
- 【71号】（3月）
特集：福祉の支え合いフォーラム・総社市ひきこもり支援フォーラム
地域ニュース from 地区社協（総社・阿曾・山田）
災害ボランティア設置演習、総社市地域福祉活動計画、表彰
ハートフルそうじゃ、障がいのある方の「働きたい！」を応援します 等
- ② ホームページの更新
 - ・研修や制度の案内、各種活動状況を随時更新
 - ・ホームページアドレス <http://www.sojasyakyo.or.jp/>
 - ・SNS（Facebook、Twitter等）の活用

(7) 民生委員互助共励事業の実施

- ① 死亡弔慰 1件
- ② 傷病見舞 4件
- ③ 退任慰労 64件

(8) 職員体制の状況 (3月31日現在)

① 課体制

・事務局長	1人 (兼 常務理事)
・事務局次長	1人 (正規 1人)
・総務企画課 課長	1人 (正規 1人)
総務企画係	6人 (正規 3人・嘱託 1人・臨時 2人)
・地域福祉課 課長	1人 (正規 1人)
地域福祉係	11人 (正規 8人・嘱託 3人)
・相談支援課 課長	1人 (正規 1人)
障がい支援係	8人 (正規 5人・嘱託 1人・臨時 2人)
権利擁護係	12人 (正規 7人・臨時 5人)
・在宅福祉課 課長	1人 (正規 1人)
総括	1人 (嘱託 1人)
訪問介護係	6人 (正規 5人・嘱託 1人)
居宅介護支援係	5人 (正規 3人・嘱託 2人)
計画相談係	6人 (正規 5人・嘱託 1人)
職員合計	61人 (正規 41人・嘱託 11人・臨時 9人)

② 資格取得状況

(国家資格)		(認定資格)	
・社会福祉士	23人	・臨床心理士	2人
・精神保健福祉士	5人	・介護支援専門員	21人
・介護福祉士	19人	・相談支援専門員	17人
・保健師	2人		
・看護師	2人		
・公認心理師	6人		

※重複あり延数

③ 年齢構成 (正規職員のみ)

・20歳代	6人
・30歳代	12人
・40歳代	13人
・50歳代	8人
・60歳代	1人

2. 地域福祉活動計画

(1) 第2次総社市地域福祉活動計画の策定

① 総社市地域福祉活動計画策定委員会の開催

関係団体・地域代表・行政・学識経験者から構成する「総社市地域福祉活動計画策定委員会」を設置し、計画策定に向けて審議・調査を行った。

- ・第1回：7月4日（月）
- ・第2回：10月4日（火）
- ・第3回：2月13日（月）
- ・第4回：3月29日（水）

② アンケート調査の実施

地域住民を対象として、地域福祉に関する意識及び実態、地域福祉活動への参加状況などを把握し、計画策定の基礎資料とするために実施した。

- ・回収目標：1,000枚
- ・回収枚数：1,720枚

③ 座談会の開催

計画策定にあたり、各地域ごとに地域の現状や課題などを話し合い、地域の将来像を検討した。

- ・実施地区：10地区（計11回）
- ・参加者：266人

3. 地域福祉活動事業

(1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進

① 地区社協会長会議の開催【年 4 回開催】

- ・第 1 回地区社協会長会議：4 月 27 日（水）

報告事項：高校生の社会貢献活動について、敬老会行事について、地区社協助成金について、寄付金配分について、共同募金配分について

協議事項：座談会について

- ・第 2 回地区社協会長会議：7 月 28 日（木）

報告事項：令和 3 年度 総社市社会福祉協議会事業報告について、令和 3 年度各地区社協の取り組みについて、座談会の進捗状況について

協議事項：福祉委員の推薦について、令和 4 年度 赤い羽根共同募金事業について（ポスター作品コンクール、赤い羽根共同募金運動推進会議）

- ・第 3 回地区社協会長会議：11 月 21 日（月）

報告事項：赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールについて、災害ボランティアセンター設置演習について、全世代みんなの会議の進捗状況について

協議事項：敬老会事業について

- ・第 4 回地区社協会長会議：3 月 23 日（木）

報告事項：令和 5 年度 総社市社会福祉協議会事業計画（案）について、令和 5 年度 福祉委員の委嘱式について、令和 4 年度赤い羽根共同募金の実績報告について、総社市地域福祉活動計画策定の進捗状況について

協議事項：地区社協活動（中・長期目標）について

② 福祉のまちづくり座談会の開催

各地区社協における今後の活動（見守り活動等）と全世代型小地域ケア会議の構築を見据え、「全世代みんなの会議」を開催した。

- ・開催地区：10 地区（計 11 回）

地 区	開催日時	テーマ
総社地区 （総社北小学校区）	12 月 4 日（日） 9：30～11：30	5 年後も住みやすい地域にするためには
池 田	11 月 25 日（金） 18：30～20：00	5 年度・10 年後も住みやすい池田地区について

地 区	開催日時	テーマ
清 音	12月10日(土) 13:30~15:30	『住み慣れた「きよね」でいつまでも自分らしく、いきいきと豊かに暮らせる福祉のまちづくりに向けて』~そのためにはどんなことが必要?そして自分たちにどんなことができる?~
三 須	11月17日(木) 13:30~15:30	仲の良い地域づくりに向けて
山 手	11月27日(日) 13:30~15:30	いつまでも住みよい山手地区に向けて
秦	9月10日(土) 18:00~20:30	秦地区の現状とこれから
神 在	9月24日(土) 19:00~21:00 1月26日(木) 19:00~20:30	5年後について考えよう!さらにすみやすい神在へ!
山 田	11月6日(日) 19:00~21:00	災害時の避難について
新 本	11月26日(土) 19:00~20:30	これからもみんなが笑顔で暮らせる新本地区について考えよう!
昭 和	11月5日(土) 9:00~11:00	安心して暮らせる昭和地区を目指して

③ 小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携

様々な地域課題を協議している小地域ケア会議及び圏域ケア会議との関係を密にし、地区社協として対応の可能性が見いだせる課題については、地区社協で取組みを協議した。

④ 地区担当制による地区社協活動の運営補助・相談業務

担当地区のサロンや行事、様々な場を訪問し、地域との関係構築を図った。

⑤ 地区社協だよりの発行

地域住民に地区社協の事業報告や社協会費の使途、決算・監査報告などを目的に地区社協毎に年1~2回程度発行した。

(2) 民生委員・児童委員活動との連携

地域福祉の増進を目的(民生委員法第1条)として、地域で活躍する民生委員・児童委員との連携を図り、地域福祉を推進した。

- ・市民生委員児童委員協議会定例会への参加
- ・地区民生委員児童委員協議会定例会への参加
- ・福祉委員との合同研修の実施

(3) 福祉委員活動の推進

- ① 全町内会・自治会等に福祉委員の配置を推進
594人(49世帯に1人配置)

② 地区福祉委員会、市福祉委員協議会の活動支援

・総社市福祉委員協議会

総会 1回開催：6月9日(木)

役員会 7回開催：5月24日(火)・7月14日(火)・8月23日(火)
9月27日(火)・10月12日(水)・12月21日(水)
3月24日(金)

役員研修会 日 時：2月14日(火) 10:00~12:00

場 所：サンロード吉備路 コンベンションホール「雪舟」

内 容：高梁市福祉委員との交流会

(両市の福祉委員活動について等)

参加者：総社市：22人 高梁市：14人(社協職員2人)

③ 研修会の実施【民生委員・児童委員との合同研修】

地区	実施日	内 容
総社	7月8日(金)	オーラルフレイル予防について
池田	2月28日(火)	認知症の方への関わり方について
常盤	6月16日(木)	高齢者支援ガイドを活用した地域の見守り活動
清音	2月28日(火)	総社市の救急救命の現状について 救急法(心肺蘇生法・AED・止血法等)について
三須	3月6日(月)	認知症サポーター養成講座
服部	9月10日(土)	神在地区における救急安心キットの取り組みについて
阿曾	3月8日(水)	ゲートキーパー養成講座
山手	11月8日(火)	成年後見制度について
秦	7月26日(火)	旭川荘について(成り立ちや理念等)
神在	7月12日(火)	目配り気配りネットワーク活動について 地域の見守りをテーマにグループワーク
久代	3月8日(水)	福祉活動について
山田	3月8日(水)	福祉活動について
新本	9月4日(日)	災害時の高齢者生活支援について
昭和	3月12日(日)	オーラルフレイル予防について

【福祉委員フォーラムの開催】

『福祉の支え合いフォーラム in 総社 2022 ~福祉委員活動から広がる地域の輪』

日 時：令和4年11月23日(水) 13:00~16:00

場 所：岡山県立大学講堂

内 容：基調講演『地域の支え合いから生まれる豊かな暮らしに向けて』

講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス

代表理事 土屋 幸己 氏

実践報告『総社市における地域の支え合い活動』

報告者 池田地区福祉委員会 本行 京子 氏

常盤地区福祉委員会 多和 孝彰 氏

八坂 規能 氏

三須地区福祉委員会 小山 敏子 氏

守谷 貞美 氏

岡 弘美 氏

山田地区福祉委員会 小野理英子 氏

昭和地区福祉委員会 宮本 昭子 氏

コーディネーター 岡山県立大学 保健福祉学部

教授 岩満 賢次 氏

コメンテーター 土屋 幸己 氏

参加者：256人

④ 「福祉委員だより“ささえあい”」の発行

福祉委員へ福祉情報や福祉委員活動の実践等、情報提供を行うことで、福祉委員活動の周知や意識高揚を図り、今後の福祉委員活動に活かすことを目的に作成した。

- ・第21号（11月）・第22号（3月）
- ・編集委員会の開催

⑤ 子ども福祉委員活動の推進

子どもたちが地域の担い手として、地域福祉活動を実践し、住んでいる地域や福祉について理解を深めるため、子ども福祉委員を任命した。また、子どもたち自身の学びの場（福祉学習）や将来の担い手育成につなげた。

地区	登録者数	取り組み内容
昭和	小学生：23人 中学生：10人	・ひとり暮らし高齢者宅を訪問して、生活の困りごと等を知るためにインタビューを実施した。（ひとり暮らし高齢者への生活実態を把握する） ・地域課題を知るために「お困りごとBOX」を制作した（R5 地区内の公民館等に設置予定）。
池田	小学生：5人 中学生：1人	・子どもたちが地域でできることを調査・検討し、地区給食サービス事業を通じた見守り訪問やふれあいサロン活動への参加により、高齢者との交流会を実施した。
計	39人	

（４）ふれあいサロン事業の推進

① ふれあいサロン活動助成金の交付

- ・申請 207か所
- ・助成 179か所（総額：3,814,000円）

② ふれあいサロンへの立ち上げ相談、運営支援

	設置数	延開催回数	延参加者数
高齢者	200 か所	2,463 回	25,307 人
障がい者	1 か所	15 回	71 人
子育て	6 か所	61 回	552 人
合計	207 か所	2,539 回	25,930 人

- ・ふれあいサロン備品の整備と貸出
- ・ふれあいサロンへ職員の訪問、取材、相談
- ・様々な分野の講師・指導者の派遣調整
- ・ふれあいサロンの情報提供（一覧、広報紙）

③ 各ふれあいサロンへ訪問

- ・ふれあいサロン活動の状況把握、相談支援、情報交換や情報提供、備品の説明

④ ふれあいサロン交流会の開催

新型コロナウイルス感染予防対策のため5つの圏域で実施

- ・内容：ふれあいサロン育成事業について、コロナ禍におけるふれあいサロン活動について、レクリエーション体験

(5) ボランティアセンター事業の実施

① 運営委員会及び部会の開催

ボランティアセンター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に運営委員会を開催した。また、平常時のボランティア活動と災害時のボランティア活動に分け、部会を設置し、活動内容を協議した。

- ・運営委員会

開催日	内 容
第1回 5月20日（金）	・事業計画について
第2回 3月27日（月）	・事業報告・事業計画について

- ・ボランティア推進部会

開催日	内 容
第1回 7月11日（月）	・ピクトグラム制作について ・今年度の取り組みについて
第2回 12月16日（金）	・次年度の取り組みについて

- ・災害ボランティア部会

開催日	内 容
第1回 6月20日（月）	・今後の取り組みについて ・災害ボランティアの周知について
第2回 3月1日（水）	・災害ボランティアセンター設置演習の振り返り ・次年度の取り組みについて

- ② ボランティア（グループ、個人）活動の支援
 - ・ボランティア登録：63グループ（2,145人、個人9人）
- ③ ボランティア活動のコーディネート
 - ・実相談件数：48件 ・延相談件数：272件
- ④ ボランティア養成講座の開催

対象者：市内在住の方、市内でボランティア活動に取り組みたい方
参加者：40人
内 容：基礎講座（1回）、はじめてのNPO法人講座（1回）
- ⑤ 「夏のボランティア体験事業」の実施

参加者：414人（中学生以上）
36事業所で活動・事前及び事後研修会の実施
- ⑥ ジュニアボランティア養成講座の開催（全3回）

参加者：10人
講 師：岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 教授 岩満 賢次 氏
岡山県立大学 ボランティア部ひまわり（第2回を担当）
- ⑦ 高校生ボランティアリーダー養成講座（全7回）

参加者：10人（総社南高校生）
高校生の企画により、秦地区及び昭和地区において、ゴミ拾いを実施
- ⑧ 総社市災害ボランティアセンター設置演習

日 時：1月28日（土）10：30～16：00
参加者：84人
- ⑨ ボランティアグループ交流会（全2回）

参加者：46人（24グループ）
内 容：ボランティアに関する講座、活動に関する意見交換
- ⑩ ボランティア連絡協議会の支援
 - ・12団体、147人 ・総会、交流集会、視察研修、役員会の実施

（6）福祉教育の推進

- ① 社会福祉学習支援事業の実施
 - ・実施校数：小学校9校、中学校1校、一般3団体

実 施 校	内 容
総社中央小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験・車いすユーザーによる授業・盲導犬ユーザーによる授業・聴覚障がい者及び手話通訳者との交流
総社小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・高齢者疑似体験・聴覚障がい者及び手話通訳者との交流・認知症サポーター養成講座
清音小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・車いすユーザーによる授業・高齢者疑似体験
山手小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験

実施校	内 容
阿曾小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・盲導犬ユーザーによる授業・車いすユーザーによる授業
秦小学校	・総社市総合福祉センター見学
総社西小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・盲導犬ユーザーによる授業・車いすユーザーによる授業・高齢者疑似体験
新本小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験・認知症サポーター養成講座・高齢者疑似体験
昭和小学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・高齢者疑似体験・盲導犬ユーザーによる授業・
総社中学校	・導入の授業・車いす、白杖体験 ・車いすユーザーによる授業
一般社団法人 総社青年会議所	・福祉について
長良文化センター	・発達障がいについて
一般社団法人 コノヒトカン	・福祉について

② 福祉学習メニュー表の作成

実践可能な講座を取りまとめたメニュー表を作成し、多様な福祉学習の実施につながるよう努めた。

③ 県立高校社会貢献活動との連携

岡山県立総社南高等学校：21人

地区	内 容	人数
清音	清音地区さんあいの家サロン	6
山手	山手なかよしウォーキング	7
新本	新本お散歩の会	8

④ 令和4年度福祉教育セミナー（総社市子ども応援セミナー）の開催

日 時：令和5年3月22日（水） 14：00～16：00

場 所：久代分館

内 容：講演『子ども食堂の必要性と役割』

講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科

講師 直島 克樹 氏

実践報告『総社市内の子ども食堂の活動について』

実践報告者：コ・コ・コ食堂

地域食堂 Dining Minna

やまてっこひだまりカフェ

総社市社会福祉協議会

(7) 生活福祉資金等の貸付

① 生活福祉資金特例貸付の貸付

- ・延相談件数 180 件
- ・貸付件数 35 件（緊急小口資金特例貸付）
35 件（総合支援資金貸付）

② 緊急援護資金の貸付

	R4	R3	R2	R1	H30
相談件数	45 件	34 件	54 件	74 件	115 件
貸付件数	33 件	24 件	39 件	35 件	34 件
うち生活保護世帯	2 件	6 件	10 件	18 件	19 件
	6.0%	25%	25.6%	51.4%	55.9%
償還率	48.4%	66.7%	82.1%	87.5%	94.1%

(8) 生活支援体制整備事業の推進（協議体の開催）

① 生活支援サービス検討委員会の開催（第 1 層協議体）

総社市における生活支援・介護予防サービスの体制整備をめざして、多様な活動関係機関との①情報共有②連携・協働③資源開発を推進するために設置した。

【第 1 回】8 月 24 日（水）

→各検討部会の進捗状況の共有・今後の協議内容について（地域包括支援センターケアマネジャーへのヒアリングをもとに）

【第 2 回】2 月 17 日（金）

→各検討部会の進捗状況の共有・生活支援サポーター養成講座報告令和 4 年度の取り組みについて・部会の改変について

② 生活支援サービス検討委員会検討部会等の開催（第 1 層協議体専門部会）

- ・「第 1 回 生活の支え合い活動検討部会」 【 7 月 13 日（水）】
- ・「第 2 回 生活の支え合い活動検討部会」 【 11 月 25 日（金）】
- ・「第 1 回 見守り（給食・買い物）活動検討部会」 【 6 月 23 日（木）】
- ・「第 2 回 見守り（給食・買い物）活動検討部会」 【 2 月 9 日（木）】
- ・「第 1 回 地域の担い手・居場所づくり検討部会」 【 6 月 13 日（月）】
- ・「第 2 回 地域の担い手・居場所づくり検討部会」 【 1 月 26 日（木）】
- ・「第 1 回 移動・外出支援検討部会」 【 2 月 7 日（火）】

③ 圏域地域包括ケア会議の開催（第 2 層協議体）

- ・多様な関係者主体の定期的な情報共有及び連携、協働による取組を推進する。
- ・地域性のある生活支援サービスのニーズを集約する場。
- ・総社市における地域包括ケアシステムを実現する三層構造の位置付け
（小地域ケア会議→圏域地域包括ケア会議→地域包括ケア会議）

【第 1 回】

中央部北（総社・池田）

6 月 3 日（金）総合福祉センター

中央部南（常盤・清音）

5 月 26 日（木）清音公民館

東部（三須・服部・阿曾・山手）	5月27日（金）山手出張所
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	6月1日（水）久代分館
北部（昭和）	6月21日（火）昭和公民館
【第2回】	
中央部北（総社・池田）	9月29日（木）池田分館
中央部南（常盤・清音）	10月17日（月）清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	9月30日（金）ふれあいセンター山手
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	10月13日（木）久代分館
北部（昭和）	10月5日（水）昭和セミナーハウス
【第3回】	
中央部北（総社・池田）	2月1日（水）中央公民館
中央部南（常盤・清音）	2月9日（木）清音福祉センター
東部（三須・服部・阿曾・山手）	1月27日（金）ふれあいセンター山手
西部（秦・神在・久代・山田・新本）	2月15日（水）久代分館
北部（昭和）	2月10日（金）昭和公民館

（9）生活支援に関する取り組み

① 移動・外出に関するアンケート調査の実施（移動・外出支援検討部会）

高齢者の移動・外出に関する現状や問題を把握し、今後の課題解決に向けた協議を行っていくための基礎資料として調査を実施した。

【調査の概要】

調査対象：市内在住の65歳以上高齢者2,000人

（地区別人口比、5歳単位の年齢別人口比を基準とした層化抽出）

※年齢別については、65～69歳、70～74歳、75～79歳、80～84歳、85～89歳、90歳以上の6区分で抽出した。

調査方法：小地域ケア会議委員及び福祉委員による留置調査

調査期間：令和4年7月～12月

回答数：1,567人／2,000人

回収率：78.35%

（10）生活支援サービスの実施（生活支援にこにこサポート事業）

① 生活支援「にこにこサポート事業」

・担い手：「にこにこサポーター」（登録者数 106人）

※R4 養成講座修了者から新規登録者数 4人

・サポート内容：高齢者等の日常生活における室内の掃除、簡単な家事、買い物、外出時の付き添い等、介護予防・自立生活を支えるために必要な生活支援の取り組みを行った。

・実績：①利用者数：48人

（要支援1：23人、要支援2：13人、事業対象者：12人）

②サポーター活動者数：48人

② 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催【担い手の養成】

「誰もが安心して豊かに暮らせる」ふれあい・助けあい・支えあいのある住民主体の福祉のまちづくりの実現に向けて、高齢者等の日常生活における「生活の困りごと」を支える応援団（生活支援サポーター）を養成し、お互いに支え合う活動を通じて、（ふ）普段の（く）暮らしの（し）幸せを創出することを目的に開催した。

・受講者数：45人 ・修了者数：31人

日 程	内 容
第1回 10月14日（金）	オリエンテーション・講義 ①「総社市の高齢者の状況・施策について」 市長寿介護課 高杉 美菜 氏 ②「フレイル・介護予防について」 市長寿介護課 河原 幸代 氏
第2回 10月28日（金）	講義 ①「地域包括支援センターの役割について」 北部地域包括支援センター 秋山 星恵 氏 ②「地域福祉の取り組みについて」 市社会福祉協議会 伊丹 和正
第3回 11月11日（金）	講義 ①「生活支援にこここサポート事業について」 市社会福祉協議会 小野 由貴子 ②「にこここサポート活動を知ろう！」 にこここサポーター連絡会 会長 荒川 知子 氏 副会長 大平 節子 氏
第4回 11月18日（金）	講義 「地域の居場所、支え合い活動を知ろう！」 担い手・居場所づくり検討部会委員 山田べんりーな 金澤 耕史 氏 ときわにこここ食堂 河田八千代 氏
第5回 12月2日（金）	講義・演習 「傾聴やコミュニケーションの手法について」 岡山県立大学 佐藤ゆかり 氏
第6回 12月9日（金）	講義・演習 「私たちにできることを考えよう」 岡山県立大学 佐藤ゆかり 氏

- ③ 生活支援サポーター連絡会（以下、にこサポ連絡会） 各種会議の開催
 生活支援サポート事業の充実（仕組みづくり）をめざして、サポーター登録者相互の連携と協調を図ること、研修や情報交換を目的に定期的な連絡会を開催。
 また、新たな活動の創出に向けた話し合いの場も開催した。

会議名	日程	内容	
総会	5月27日（金） ※書面決議	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 事業報告・決算報告 令和4年度 役員名簿（案）について 令和4年度 事業計画（案）及び事業予算（案）について 	
役員会	第1回 4月25日（月）	<ul style="list-style-type: none"> 総会について にこにこサポート事業の現状について 	
	第2回 7月22日（金）	<ul style="list-style-type: none"> にこにこサポート活動に関するアンケート調査の結果について にこサポボーイズの活動について にこサポ体験について フォローアップ研修・交流会、役員研修会の開催について 	
	第3回 1月27日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 地区連絡会、フォローアップ研修の振り返り 今後の取り組みについて 	
地区連絡会	11月22日（火）	西部圏域 参加者数:5人/全17人	地区内でのサポーター同士のつながり（ネットワーク）について
	11月24日（木）	中央部南圏域 参加者数:6人/全20人	
	11月29日（火）	東部圏域 参加者数:8人/全16人	にこサポ事業の現状と課題について
	12月6日（火）	北部圏域 参加者数:6人/全10人	より主体的な実践をめざした地区連絡会の役割について （例 サポーター調整）
	12月15日（木）	中央部北圏域 参加者数:8人/全43人	
にこサポボーイズ連絡会	第1回 2月14日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の活動実績について 今後の取り組みについて 	
フォローアップ研修	12月8日（木）	【テーマ】 利用者の介護予防・自立支援を考えよう	
	12月16日（金）	【講師】 岡山県介護福祉士会 青年隊 はれる家 【参加者】29人	

4. 子育て支援事業

(1) 子育てサロン事業の支援

- ・子育てサロンへの相談支援（6か所）
- ・活動助成金の交付・備品の貸し出し

(2) 地域密着型子どもまつりの開催支援（地区社協子育て支援事業助成）

- ・地区社会福祉協議会と連携して地域密着型の子どもまつりの開催
- ・多世代交流事業としても開催

地区	日程	参加人数	行事名	内容
池田	2月13日（月）	33人	子育て交流会	（対象者）幼稚園児、小学生 （内容）コロナ禍の為、図書カード・お菓子を配布することで子どもたちとの交流を図る。
三須	11月11日（金）	35人	地域交流・子育て支援事業 竹とんぼ作りで遊ぼう	（対象者）幼稚園児 （内容）竹とんぼを作り、園児と一緒に楽しくふれあい、世代間交流を図る。
服部	1月20日（金）	59人	服部幼稚園児 県立大学のお兄さん、姉さんと遊ぼう	（対象者）幼稚園児 （内容）輪投げ、かるた、お菓子釣り、福笑い等を実施し、園児と交流を図る。
山手	6月9日（木）	79人	やまてちびっこまつり	（対象者）就園前の乳幼児とその家族 （内容）工作、ステージショー等を行い、山手地区の親子と地域住民が交流を図る。
秦	10月22日（土）	500人	秦三世代交流 ふれあい市	（対象者）秦在住の方 （内容）児童イベントコーナーを設置し、三世代交流を図る。
久代	10月27日（木）	42人	久代地区民児協と久代幼稚園とのふれあい交流会	（対象者）幼稚園児、地区社協、民生委員・児童委員 （内容）絵本読み聞かせ、ターゲットゲーム等を行い園児と交流を図る。
新本	5月5日（木）	164人	新本みんなのマルシェ	（対象者）新本在住の方 （内容）児童ゲームコーナーを設け、三世代交流を図る。

(3) 子ども食堂開設・運営支援事業（生活困窮支援センターと連携）

子ども食堂の開設や興味のある方を対象にネットワークづくりを行い、子ども食堂開設に向けての支援を行った。

- ① 子ども食堂連絡会 2回開催：6月17日(金)・12月16日(金)
- ② 総社市子ども応援セミナー（令和4年度福祉教育セミナー）の開催

日 時：令和5年3月22日（水）14：00～16：00

場 所：久代分館

内 容：講演『子ども食堂の必要性と役割』

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科

講師 直島 克樹 氏

実践報告『総社市内の子ども食堂の活動について』

実践報告者：コ・コ・コ食堂

地域食堂 Dining Minna

やまてっこひだまりカフェ

総社市社会福祉協議会

- ③ 子ども食堂開設支援として子ども食堂へ助成金の交付：8か所（新規1か所）

5. 高齢者福祉事業

(1) 敬老事業の実施（地区社協主催で開催）

式典などの集合型や戸別訪問による記念品等の配布等、各地区で方法を協議し、高齢者を敬う事業を実施した。

対象者：6,404人（80歳以上）

地区	対象者	実施方法	地区	対象者	実施方法
総社	1,776人	記念品配布	山手	418人	記念品配布
常盤	828人	記念品配布	秦	236人	記念品配布
池田	164人	式典、記念品配布	神在	188人	式典、記念品配布
清音	625人	式典、記念品配布	久代	344人	記念品配布
三須	387人	記念品配布	山田	100人	集合型
服部	218人	記念品配布	新本	197人	記念品配布
阿曾	343人	記念品配布	昭和	580人	記念品配布

(2) 高齢者等団体（老人クラブ、ひとり暮らし高齢者の会、介護者の会）の支援

- ① いきいきシニア総社（総社市老人クラブ連合会）

・54クラブ 3,142人

・主な事業：総会、研修会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会、女性委員会主催行事

- ② 松寿会（ひとり暮らし高齢者の会）
 - ・対象：市内在住で 65 歳以上の一人暮らしの方
 - ・会員：79 人
 - ・内容：総会、交流会、移動研修、役員会
- ③ 総社介護者の会
 - ・対象：身体に不自由な方等を介護している方、介護体験者等
 - ・会員：18 人
 - ・内容：総会、茶話会、研修旅行、料理教室、役員会

6. 日常生活自立支援事業の実施

- ① 日常生活自立支援事業の実施
 - ・令和 4 年度 利用者数：19 人
- ② 生活支援員による援助の実施
 - ・令和 4 年度 生活支援員登録者数：29 人（内 15 人が活動中）

7. 法人後見事業の実施

- ① 法人後見事業の実施
 - ・受任件数 10 件（後見 5 件、保佐 4 件、補助 1 件）
- ② 市民後見人による後見業務の実施
 - ・市民後見人登録者 21 人
（うち 10 人が活動中であり、複数後見 5 人、法人後見支援員 5 人）

8. 社会福祉法人との連携事業

平成 29 年 7 月 1 日、社会福祉法第 24 条第 2 項に規定される「地域における公益的な取組」を協働して行うことを目指して、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会（愛称：ふくしネットそうじゃ）が設立。総社市内に拠点のある社会福祉法人（20 法人）に呼びかけ、19 法人が加入し活動を実施した。

スキーム福祉の会	金曜会	雪舟福祉会
やさい畑クムレ	超寿会	吉備のくに福祉会
光優会	あのね保育園	新生寿会
真美会	経山会	進和福祉会
吉備路の会	すずらん保育園	総社市社会福祉事業団
総社福祉会	ももその学園	総社市社会福祉協議会
千寿福祉会		

① 総会の開催

【総会】

日時：令和 4 年 6 月 10 日（金）13：00～14：00

場所：総社西公民館久代分館 大会議室

- 内容：・令和 3 年度事業報告について
- ・令和 3 年度決算報告及び監査報告について
 - ・令和 4 年度事業計画（案）について
 - ・令和 4 年度収入支出予算（案）について

【会員研修会の開催】

日時：令和 4 年 6 月 10 日（金）14：15～15：45

※総会終了後開催

場所：総社西公民館久代分館 大会議室

内容：講演「子どもを支える家庭や社会の変化から考える地域支援
～社会貢献活動としてできること～」

講師 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 直島 克樹 氏

② 役員会の開催

- ・2 回開催：令和 4 年 4 月 26 日（火）、令和 5 年 3 月 29 日（水）

③ 部会の開催

【事業部会】1 回開催：令和 4 年 7 月 27 日（水）

④ 暮らし応援事業の実施（フードリンクプロジェクト）

おかやまコープ総社東、総社市生活困窮支援センターとの協働で、フードドライブ（食料品の寄付を募り、いただいたものを生活困窮支援に役立てる活動）を実施した。

また、新たに、各法人にフードパントリーを設置し、食糧支援を通じて、生活に困っている方の発見や相談のきっかけづくりに活用した。

・フードドライブの実施

第1回 令和4年9月24日(土) 10:00~13:00

参加者: 14人(社会福祉法人4人、おかやまコープ5人、事務局5人)

協力者: 29人 協力法人: 9法人 協力団体: 1団体

総数: 1,058個

第2回 令和5年2月11日(土) 10:00~13:00

参加者: 16人(社会福祉法人8人、おかやまコープ4人、事務局4人)

協力者: 18人 協力法人: 13法人

総数: 1,640個

・フードパントリーの実施 11法人

・利用件数 97件(利用票提出分)

⑤ しごと応援事業の実施

生活困窮者やひきこもり者など各種相談支援機関が関わるような、制度・サービスの狭間にあり、社会参加が困難な状況にある方を対象に、ボランティアや就労を体験できる機会として福祉施設等で受け入れ、社会参加や自立生活に向けた支援を行った。必要に応じて、半日以上活動に対し1,000円の活動費を支給した。(30回を限度)

実績: 2人(超寿会)

⑥ 安心すまい応援事業の実施

DV被害者の一時避難先や、生活困窮者の一時的な生活の場(宿泊等)として受け入れる活動。

実績: 3人(吉備路の会)、1人(池田屋ホテル)

⑦ 新たな取り組み応援事業の実施

市内で先駆的かつ公益的な取り組みで、公的助成が見込めない団体に対し、必要経費の一部を助成する活動。

実績: 1件(総社北小学校子ども食堂「きたっこ」)

9. 障がい者福祉事業

(1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営

① 相談支援の実施（電話、来所、訪問、その他）

（相談支援を利用している障がい者等）

（人）

対象者	実人員	身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
障がい児	125	7	13	0	50	0	2	60
障がい者	245	19	70	103	56	0	1	32
計	370	26	83	103	106	0	3	92

（相談支援方法）合計（実）4,036 件、（延）5,096 件

（件）

		訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E- mail	ケア 会議	関係 機関	その他
相談件数 （実数）		355	469	65	889	256	148	1,850	4
内 訳 ※ 重 複 あ り	身体	16	7	2	68	14	3	87	0
	知的	78	134	14	182	61	47	347	1
	精神	131	178	30	540	24	61	925	3
	発達	186	227	30	337	94	88	839	2
	高次脳	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病	0	0	0	1	0	0	0	0
	その他	31	50	3	32	97	7	119	0
計		442	596	79	1,160	290	206	2,317	6

② 障がい者地域移行・地域定着支援の実施

基幹相談支援センターに求められる役割の一つとして、入所施設や精神科病院等と連携し、障がいのある方の地域移行・地域定着をサポートしている。

(2) 発達障がい者支援体制整備事業の実施

① 発達障がい者支援ネットワークの構築

- ・相談支援実数 239 人（延 6,574 件）
- ・児童 114 人（うち未診断・未確認 62 人、知的障がいを伴う 12 人）
- ・成人 125 人（うち未診断・未確認 53 人、知的障がいを伴う 26 人）

（相談支援方法） 合計（延）2,780 件

（件）

訪問	来所 相談	同行 訪問	電話 相談	E-mail	ケア 会議	関係 機関	その他
243	337	45	554	186	128	1,284	3

- ・関係者の研修、その他の取組等

(主催の講座・研修等)

- ・発達障がい支援者養成講座「みんなで学ぼう！発達障がい」(全5回)
※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場、録画視聴の選択形式で開催

講 師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科

講師 重松 孝治 氏

申込者：118 人

延べ参加者：来場 計 41 人 録画視聴回数：計 948 回

- ・子育て支援研修会「こどもとおとなのコミュニケーション～こどもとのより良い関係を築くために」 3月1日(水)

講 師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科

教授 武井 祐子 氏

申込者：86 人、延べ参加者：来場 計 20 人

録画視聴回数 : 計 128 回

(コーディネーター派遣等)

- ・6月23日 発達障がいについての勉強会 対象：長良地区住民
場所：長良文化センター
- ・6月27日 発達障がいについての勉強会 対象：総社市議会議員8名
場所：総社市役所
- ・7月12日 発達障がいについての勉強会 対象：セレーノ総社職員
場所：セレーノ総社
- ・7月27日 総社市内中学校特別支援教育研修会
対象：総社市内中学校教職員 場所：総社西中学校
- ・8月 4日 倉敷まきび支援学校 総社地区 生活・働くを知る会
- ・8月24日 岡山県トータルライフ支援プロジェクト 第1回中高合同研修会
- ・12月22日 発達障害支援関係者連絡会議発表(切れ目のない支援に向けた様々な取り組み～義務教育終了後の四者面談を中心に～)
- ・2月21日 進路説明会(障がいのある方の進路について)
- ・総社市4歳児発達支援事業の相談支援チームとして、市内幼稚園、保育所(園)等を訪問
- ・総社市教育支援委員会専門家チームとして、市内小中学校、幼稚園、保育所(園)を訪問

(その他)

- ・世界自閉症啓発デー(発達障害啓発週間)アートぎゃらりー実施
- ・専門職派遣事業の開始
- ・子育て支援研修会の開催
- ・総社市地域自立支援協議会 こどもに寄り添う連絡会を開催(年4回、研修会1回)
- ・総社市地域自立支援協議会 療育支援事業所連絡会を開催(年2回、研修会1回)

② 発達障がい支援者養成講座の開催

「みんなで学ぼう！発達障がい」

5回開催：11月10日（木）、12月8日（木）、1月23日（月）、
2月15日（水）、3月9日（木）

場 所：第1回～第3回清音公民館大ホール、第4回～第5回中央公民館第1
会議室、録画視聴

対 象：総社市在住の発達障がい児（者）の保護者及び支援者等

講 師：川崎医療福祉大学 子ども医療福祉学科 講師 重松孝治 氏

内 容：第1回 発達障がいの理解

第2回 個々の子ども理解とかかわりに向けて

第3回 子どもが分かる伝え方

第4回 子どもからの発信を育てる

第5回 ライフステージに応じた支援に向けて

申込者数：118人

参加者数：来場 延 41人、 録画視聴回数：延 948回

③ 自閉症支援トレーニングセミナーの開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止した。

④ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間啓発イベントの実施

自閉症の理解・啓発の一環として、当事者の方の作品を展示した。

日 時：4月2日（土）～4月8日（金）

場 所：天満屋ハピータウンリブ2 チュッピースクエア

(3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営

(就労者数：1,274人 ※本センター支援実績含む)

① 障がい者就労支援の推進

相談件数(延)：4,948件

就職件数：76件・職場実習：42件

・障がい種別 合計(延)5,827件 (件)

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
475	1,314	2,474	1,411	59	33	61

・就労状況 合計(延)4,948件(件)

在職中	求職中
2,981	1,967

・相談方法(延) 合計(延)4,948件 (件)

訪問	来所	電話	e-mail	その他
648	872	2,925	374	129

・障がい者千五百人雇用センター登録者を対象に状況確認のアンケートを実施

回収数：226名/618名 回収率：36.6%

それぞれの状況に応じて相談対応を行った。

・障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会【1月24日(火)】への協力

面接会場内に千五百人雇用センターの相談ブースを設置

② 障がい者就労支援セミナー2022 in そうじゃの開催

地域の企業等を対象に、精神障がい者への理解を深め、安定して生き生きと働き続けることができる場を増やすことを目的として開催した。

日時：11月25日(金) 13:30~15:30

場所：山手公民館コミュニティーホール・録画視聴

内容：講演：「精神障がいのある方への雇用、定着に必要なこと」

講師：岡山障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー
植木 康敬 氏

情報提供：「障がい者を雇い入れた場合などの助成」

報告者：倉敷中央公共職業安定所 統括 小見山 卓雄 氏

情報提供：「総社市障がい者千五百人雇用センターの取り組み」

報告者：総社市障がい者千五百人雇用センター

実践紹介：アサヒ飲料 株式会社 総務部長 吉田 達哉 氏

大惣 株式会社 総務課長 佐田野 敦 氏

総務企画室長 重松 紀子 氏

株式会社 ザグザグ 総務部 採用チーム 阿部 瞳 氏

参加者数：延べ123人(会場/26人/録画視聴97人)

③ 工賃向上研修会の開催

先進事例を学び意見交換をとおして、就労継続支援事業所のサービスの質の向上および工賃向上を目的に開催した。

日 時：11月4日（金）16:30～17:30

場 所：総社市総合福祉センター2階技能習得室、オンライン、録画視聴

内 容：「総社市地域自立支援協議会 日中活動事業所連絡会の取り組み」

講 師：総社市地域自立支援協議会 日中活動事業所連絡会

代表 高杉 裕美 氏

内 容：「延岡市自立支援協議会 就労支援部会の取り組み

～ご延DEマルシェ・農福連携・テレワークについて～

講 師：延岡市 障がい福祉課 障がい福祉係 兼松 優太郎 氏

延岡市 障がい福祉課 自立支援係 甲斐 なつみ 氏

参加者数：延べ71人（会場22人／オンライン9人／録画視聴40人）

（4）障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営

① 日中活動支援事業（創作的活動、生産活動、社会との交流促進等の事業を実施）

日中活動の場の提供、地域交流等の各事業を実施している。

- ・日中活動利用者 延人数 1,212人、登録者数 70人
- ・日中活動支援 利用者が自主的に行事を考え、活動に参加できるように支援をする。（創作活動、料理教室等）
- ・地域交流事業（行事の企画実施）
- ・広報・啓発事業 ゆうゆう通信の発行（月1回）

② 障がい者ふれあいボランティア講座の開催

【全3回：12月11日（日）、1月11日（水）、1月22日（日）】

1. 「ボランティア基礎講座」

岡山 NPO センター 参画推進センター所長 西村 ころろ 氏

2. 「精神障がいのある方と接するにあたって」

ころろ診療所 ソーシャルワーカー 木村 仁美 氏

3. 「利用者と一緒に行事に参加しよう」

地域活動支援センター利用者と職員

(5) 地域自立支援協議会の運営

- ① 全体会議・運営会議・実務担当者会議・部会・プロジェクトチームの運営事務局を総社市障がい者基幹相談支援センターが担っている。

当事者団体、家族、施設、関係機関、行政関係者など 70 以上の団体・機関から構成されている。

(地域自立支援協議会開催状況)

- ・全体会議 1 回開催【6月 17 日(金)】※オンライン配信 (Zoom)
- ・実務担当者会議 1 回開催【3月 14 日(火)】※ 委員向けの研修会として開催
- ・運営会議 5 回開催【5月 13 日(金) 7月 15 日(金)、9月 9 日(金)、11月 11 日(金)、1月 20 日(金)】
- ・専門部会・プロジェクトチーム・連絡会

No	専門部会名	開催回数
1	住まいを考える部会	10 回
2	医療的ケア児支援体制検討プロジェクトチーム	3 回
3	相談支援事業所連絡会	11 回
4	こどもに寄り添う連絡会	4 回
5	日中活動事業所連絡会	2 回
6	日中一時支援事業所連絡会	6 回
7	療育支援事業所連絡会	2 回
8	ハートフルそうじゃ実行委員会	4 回

(地域自立支援協議会研修会：実務担当者会議)

- ・4月 2 日(土)～8 日(金) 自閉症啓発デー アートぎやらりー
- ・6月 4 日(土) 日中一時支援事業所連絡会
- ・7月 16 日(土) 日中活動事業所説明会
- ・11月 11 日(金) 療育支援事業所連絡会・日中一時支援事業所連絡会研修会
テーマ：「関係機関とのより良い連携について」
講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 小田桐 早苗氏
- ・1月 26 日(木)～2月 27 日(月) そうじゃてのひらマルシェフェア
- ・3月 14 日(火) 研修会(実務担当者会議)
 - ① 障がい者虐待防止法の理解と対応
講師：総社市保健福祉部福祉課長補佐兼障がい福祉係長 白神 和彦 氏
 - ② 虐待防止の取り組みを事例から学ぶ～あなたはどのように考えますか？
講師：社会福祉法人吉備路の会吉備路学園管理者 槇枝 浩文 氏

(岡山県知的障害者福祉協会 人権・倫理委員長)

- ・ 総社市地域自立支援協議会 連続講座
「親あるうち」に「親なきあと」を考える
全4回：1月27日(金)、2月2日(木)、2月9日(木)、2月17日(金)
講 師：梶野 雅章 氏
- ・ 当事者教育・支援者養成研修会
「障がいのある人の「性」と「関係性」について」
全5回：2月16日(木)、2月25日(土)、2月28日(火)、
3月4日(土)、3月7日(火)
講 師：NPO 法人CAPプロジェクトおかやま
山下 明美 氏 塩津 朋子 氏
- ・ 備中圏域自立支援協議会連絡会 3回開催
5月19日(木)、9月30日(金)、1月13日(金)
- ・ 岡山県自立支援協議会事務局連絡会 3回開催
5月27日(金)、10月21日(金)、2月1日(水)

(6) 障がい福祉フォーラムの開催

障がいのある方が地域で安心して暮らせるまちづくりの推進を目指し、「障がい者週間」にあわせて開催した。

日 時：12月3日(土) 13:00～16:00

場 所：山手公民館

内 容：①ナントナティックウエイトリフティング大会

②ゆめラボキッズダンス

③福祉事業所等による販売会“そうじゃてのひらマルシェ”

④事業所等紹介パネル展示(12月2日(金)～12月9日(金))

(7) 障がい者(児)団体の支援

障がい者(児)団体に対し、団体の活動に関する情報提供や要望に応じて助言している。また、事務局や運営委員の一員としての役割を担う等、団体活動のサポートを行った。

- ・ 総社市身体障害者福祉協会
- ・ 総社市インクルージョン推進事業協議会

10. 権利擁護事業の設置運営

(1) 権利擁護センター“しえん”の設置運営

【令和4年度相談実績】

・相談内容別相談対応数 (実)390件、(延)4,152件 (件)

	高齢者 虐待	障がい 者虐待	児童 虐待	DV	養護者 支援	成年 後見	日援 事業	入居等	犯罪 被害	法律	日常 生活
実数	34	6	6	11	38	101	5	13	8	41	127
延数	474	65	15	101	459	1,308	29	236	85	62	1,318

- ・犯罪被害者支援講演会の開催（1月17日）

講演：「地域における被害者支援を考える

～警察と大学生の連携による実践から～

講師：岡山県警察本部 警務部 県民広報課 犯罪被害者支援室

犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」

対象：一般市民

参加者：会場33人、録画視聴2人

(2) 権利擁護センター運営委員会の開催

① 運営委員会の開催

権利擁護センター運営のための事業計画の審議や事業の進捗状況管理を目的に開催した。

開催日	内容
第1回 4月12日	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度権利擁護センター実績報告について <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人登録審査会結果報告、市への答申 ・令和4年度権利擁護センター事業計画について ・市民後見人養成研修受講者面接委員選出について ・後見等候補者登録カードについて
第2回 9月21日	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度中間報告 ・中核機関体制整備ワーキンググループ報告 ・障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループ報告 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成研修受講者選考について ・市民後見人養成研修の内容について ・権利擁護推進講座の開催について <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画について ・第1次総社市地域福祉計画について

第3回 3月24日	【報告事項】 ・中核機関体制整備ワーキンググループ報告 ・障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループ報告 【協議事項】 ・支援検討委員会基本情報シートについて ・市民後見人養成研修受講者選考面接基準について ・市民後見人登録審査会について ・市民後見人登録審査会委員選出について ・令和5年度事業計画について
--------------	--

② 支援検討委員会の開催

個別事例の支援調整、困難事例の検討を実施した。

開催日	原則隔月開催＋臨時開催（3回） 7月13日・8月30日（臨時）・9月21日・11月9日 ・12月7日（臨時）・1月11日・3月2日（臨時）・3月24日
検討事例	14事例 内訳：成年後見制度の必要性及び申立てについて（11件） 困難事例（3件）
受任者調整	21事例 対象者内訳：高齢者（16件）、障がい者（5件） 候補者内訳：弁護士（6件）、司法書士（5件）、社会福祉士（3件）、法人（7件）

③ ワーキンググループの開催

権利擁護課題の解決に向けて、ワーキンググループを設置し、調査研究を行った。

・中核機関体制整備ワーキンググループ

開催日	内容
第1回 8月30日	・受任者調整のルールについて ・後見等候補者リスト新規登録説明会について
第2回 12月20日	・受任者調整のフロー図作成について
第3回 3月2日	・受任者調整について

・障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループ

開催日	内容
第1回 7月7日	・総社市における施設従事者による障がい者虐待への対応について
第2回 10月13日	・施設従事者による障がい者虐待【対応段階】について ・養護者による障がい者虐待の対応状況について
第3回 12月13日	・障がい者虐待の対応について【フロー図の点検・検証】 （初動期段階における支援のポイント・記録帳票の取り扱いについて）
第4回 3月15日	・障がい者虐待の対応について【フロー図の点検・検証】 （対応期段階における支援のポイント・記録帳票の取り扱いについて）

(3) 成年後見制度に関する啓発事業の実施

成年後見制度や市民後見人の活動の理解と周知・啓発を目的に、成年後見セミナー及び市民後見人養成研修の説明会を開催。また、個別の相談に対応するため成年後見制度無料相談会を実施した。

① 令和4年度成年後見セミナー及び市民後見人養成研修説明会

内 容：講演『知って安心！成年後見制度の基本の「き」』

講師：総社法律事務所 弁護士 岡田 孝文 氏

実施日：8月 1日

受講者：会場 20人、録画視聴9人

② 成年後見制度無料相談

成年後見制度に関する相談に専門職（弁護士・社会福祉士）が対応した。

実施日：毎月第2木曜日 14：00～16：00（計12回）

相談件数：13件

(4) 市民後見人養成事業の実施

市内で市民後見人として活動いただける方を養成することを目的に開催した。

今年度は2人が次の研修を受講し修了した。

① 岡山県市民後見人養成講座

10月10日（月）～12月11日（日）の7日間で、成年後見制度や市民後見人活動の基礎的内容について、知識・技術を習得していただいた。

② 総社市市民後見人養成研修

総社市における地域福祉の取組、市民後見概論や専門的な関係制度・民法の基礎事項を行政や弁護士・司法書士等を講師として研修会を実施し、受講いただいた。

実施日：1月6日（金）～2月24日（金）の4日間

現場実習（施設見学・後見業務同行）

(5) 市民後見人フォローアップ事業の実施

① 市民後見人定例研修会

市民後見人登録者21人を対象に、成年後見業務に関する知識や技術の向上を目的に奇数月第3水曜日に開催した。

開催日	内容
第1回 5月19日	・本年度の研修会の内容について
第2回 7月20日	・あいさポーター研修
第3回 9月21日	・介護保険制度及び後期高齢者医療について
第4回 11月16日	・活動報告（グループワーク）
第5回 1月18日	・後見人の意思決定支援を考える 岡山版ガイドライン改訂版をひまえて
第6回 3月15日	他市との交流（笠岡市）

② ネットワーク連絡会（市民後見人自主運営）

市民後見人同士の情報交換、ネットワーク構築等の自主活動を行った。

③ 受任後のフォローアップ

日頃の後見活動における相談支援を個別に実施し、市民後見人定例研修会においては、市民後見人同士による支援の課題や意見交換を実施した。

④ 総社市市民後見人養成研修会への参加

市民後見人養成研修（市独自研修）に現任の市民後見人も受講。知識や技術のフォローアップの機会を提供した。

（6）市長申立て事務の実施

総社市が行う成年後見制度の市長申立てにおいて、担当部署と連携し、申立て書等を権利擁護センターが作成した。

令和4年度実績：10件

（7）なんでも相談会の開催

市民が安心して地域で生活できるように、法律や福祉等についての相談会をそうじゃ権利擁護ねっとと連携し開催した。「そうじゃ！くらしの困りごと相談しょ！～つながる・つながる相談会～」という名称で、弁護士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、社会福祉士など、多様な職種に相談対応いただいた。

相談件数：12件

専門職の参加：24人

（8）弁護士による専門職向け法律相談の実施

① 弁護士による専門職向け法律相談の実施

専門職を対象に総社市権利擁護センター弁護士が、相談事例における法律的な支援について必要な助言等を行った。

・相談者数：19人

② 法律ミニ講座の開催

市民や専門職に法律の正しい知識を身につけることを目的に開催した。

講師：総社市権利擁護センター 吉野夏己弁護士

	開催日	内 容	参加人数
第1回	6月 2日	成人年齢引き下げについて	9人
第2回	7月 21日	相続について①（遺産分割）	22人
第3回	8月 18日	相続について②（遺言・遺留分）	23人
第4回	9月 15日	相続について③（寄与分など）	22人
第5回	10月 20日	離婚の諸問題（子の親権など）	5人

第6回	11月17日	近隣トラブルについて	12人
第7回	12月15日	消費者問題について	5人
第8回	1月19日	金銭トラブル・民事裁判について	10人
第9回	2月16日	各種ハラスメントについて	11人
第10回	3月16日	個人情報保護法について	8人

(9) 虐待防止研修会の実施

高齢者、障がい者、児童など、各世代・分野における虐待の防止に関する基礎的知識を知り、地域での見守りや支え合いの重要性を再認識するとともに、地域でできることを考えていくきっかけづくりを目的とし開催した。

実施日：7月22日・25日

内 容：研修「住み慣れた地域で暮らし続けるために～権利擁護の視点から～」

講 師：ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 人間生活学科
准教授 中井 俊雄 氏

対 象：地域の民生委員・児童委員、福祉委員、愛育委員など地域の方

参加者：会場 35人、録画視聴 2人

1 1. 生活困窮者支援事業

(1) 生活困窮支援センターの設置運営

① 自立相談支援事業

相談者が抱える問題について応じ、必要な情報提供や助言を行い、支援プランを作成して生活困窮者の自立の促進を行った。

- ・新規相談件数：140人
- ・延相談件数：10,159件

② 就労準備支援事業

生活基礎能力、対人能力、社会適応能力等に課題を抱え、就労が困難な方に対し、一般般就労に従事するための準備として、基礎能力を習得するための支援を計画的に実施する。

- ・プラン作成件数：3件

③ 家計相談支援事業

相談者が自らの家計の状況に気づき、それを理解した上で、そこから見える課題を把握して家計の再生に向けた具体的な方針を立て、相談者が自ら家計管理できるよう支援を行った。(自立相談支援事業の相談者と重複)

- ・プラン作成件数：24件

④ 家計相談会

将来設計や節約のポイントについて、専門的なアドバイスを受けるため、ファイナンシャル・プランナーによる家計相談会を行った。

- ・実施回数：年間6回
- ・相談者数：延8人

⑤ 支援調整会議の開催

相談者の目指す姿(目標)や、目標の実現に向けて相談者が取り組むこと、支援内容等を支援計画としてまとめたものが課題解決に向けた内容となっているか、サービス提供者は適切か、等について関係者間で協議する。また支援者や関係者が認識を共有するための場として開催した。

- ・開催回数：12回
- ・プラン作成件数：27件
- ・終了件数：14件

(2) 学習等支援事業「ワンステップ」の実施

生活困窮世帯の子どもを対象に学習支援や進路等の相談できる場を提供した。また、学習を教える大学生や教員OB・OG等との交流により子どもたちの将来を育てる場等子どもたちの居場所としても機能した。

① 学習支援（中高生版）

登録中学生数：13人（1年生：4人、2年生：5人、3年生：4人）

登録高校生数：7人（1年生：4人、2年生：2人、3年生：1人）

※生徒延参加者数：488名 平均参加者数（1回あたり）：7.3人

登録大学生：51人

（岡山大学生：4人、県立大学生：43人（内地域創生演習13人）、川崎医療福祉大学3人、新見公立大学1名）

※大学生延参加者数：267人 平均参加者数（1回あたり）：4.0人
一般ボランティア：5人（教員・塾講師・ワンステップのOB・OG）

※延参加者数：175人 平均参加者数（1回あたり）：2.8人

実施回数：67回（火曜日と金曜日に実施）

② 学習支援（小学生版）

NPO法人保育サポート「あい・あい」に委託して実施

参加小学生数：11人

（1年生：2人、2年生：2人、3年生：2人、5年生：2人、6年生：3人）

サポーター：15人

実施回数：45回

③ 意見交換会

開催日：8月5日（金）、12月2日（金）

会場：総社市総合福祉センター

参加者：岡山大学生、岡山県立大学生、大学教員

内容：本事業の振り返りを行い、参加者それぞれから課題や意見の交換を行い次年度事業の実施に向けての改善点等検討した。

④ オープンキャンパスへの参加

日時：7月16日（土）

会場：岡山県立大学

参加者：2人

⑤ 学園祭への参加

日時：11月5日（土）

会場：岡山県立大学

参加者：2人

⑥ 社会体験プログラム

開催日：7月27日（水）

行先：木下大サーカス

内容：公共交通機関を利用し、切符の購入方法などを大学生と一緒に学び、と参加者同士の親睦を図った。

参加者：生徒 6 人（中学生 3 人・高校生 3 人）
大学生 6 人（岡山県立大学）

⑦ 職業人の話を聞く会

開催日：9月14日（水）

会場：総社市総合福祉センター

内容：生徒が民間企業で活躍する職業人（サービス業）から、職業に就くまでの過程や仕事の魅力等の話を聞き、将来について考える機会を設ける。

講師：プティ・グレーヌ パティシエ 日置 尚孝 氏

参加者：生徒 2 人（中学生 2 人）、大学生 1 人（岡山大学）、保護者 1 人

⑧ マネー教室

開催日：2月10日（金）

会場：総社市総合福祉センター

内容：吉備信用金庫の職員の方のご協力で、お小遣い帳への記入の仕方、銀行への定期積立等を学ぶ。

（3）食糧支援に関する事業の実施

食糧ロスの削減、食育の機会を図るとともに、地域住民の方からの寄付、フードバンク、順正学園、コープ等関係機関と連携、協働し、生活困窮世帯等へ生活の改善、自立につながる食糧支援を実施した。

また、総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会及びコープと協働し、2回のフードドライブを実施した。自宅や会社等で余っている食糧を持ち寄っていただき、支援に活用すると共に、活動を通じて生活困窮者支援活動の周知を図ることができた。

（4）子ども食堂との連携

子ども食堂との連携を通じ、困窮状態と思われる世帯の把握と支援のきっかけとなるべく、生活困窮支援センターの周知。また、子ども食堂への食糧提供、連絡会への参加をし、運営に関する支援を行った。

（5）生活困窮支援センター協議会の開催

① 協議会及び常任委員会の開催

生活困窮支援センターの運営に関し必要な事項を審議した。

- ・ 第 1 回協議会：4月28日（木）

令和3年度事業報告について

令和4年度事業計画について

- ・ 第 2 回協議会：10月7日（金）

総社市生活困窮支援センターの中間報告について

課題別専門部会からの報告

令和5年度事業計画について

② 課題別専門部会の開催

生活困窮支援センター事業について調査研究又は審議するため、協議会内に課題別専門部会を設置し協議した。

- 学習支援・こども食堂等支援部会

2回開催：8月12日（金）、2月21日（火）

内容：ワンステップの実施状況について（小学生版・中高生版）

ワンステップの担い手確保について

ワンステップの対象世帯の拡大について

こども食堂の現状と課題について

- 就労支援部会

2回開催：9月7日（水）、3月29日（水）

内容：就労支援の現状と今後の課題について

農福連携について

就労準備支援事業について

（6）一時生活場所の確保の実施

派遣契約の解除による社宅の退去や、賃貸住宅契約の退去事項に抵触し、退去になった方等へ、次の居住先の確定までの間、「ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）」の協力を得て、一時生活場所の提供を行った。

実施社会福祉法人：吉備路の会

受け入れ件数：4件

12. ひきこもり支援事業

(1) ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置・運営

① ひきこもり支援センター“ワンタッチ”の設置運営

「ひきこもり」に関する相談支援を行うためのワンストップ相談窓口として、来所相談、訪問相談、電話相談、e-mailでの相談等、様々な手段で当事者及び家族等の相談支援を行った。

【令和4年度相談実績】

- ・延相談件数 5,083件
(訪問 663件、来所 1,691件、電話 2,206件、e-mail 523件)
- ・実相談者数 121人(うち、新規 35人)
(男性 82人：67.8%、女性 39人：32.2%)
- ・社会参加実人数 12人
(定期的居場所利用 4人、復学 1人、就労 3人、福祉的就労 1人、就労移行支援 1人、生活介護 1人、町内会 1人)

(2) ひきこもり支援等検討委員会の開催

ひきこもり支援センター『ワンタッチ』の運営、事業の計画・推進(支援者の養成、居場所の設置等)、予算の執行、規定の制定等について審議する、ひきこもり支援等検討委員会を開催した。委員会には、より専門的に協議・検討するため、3つの専門部会(支援者養成部会・社会参加推進部会・就労支援部会)を設置している。

・ひきこもり支援等検討委員会

開催日	内容
第1回 4月28日(木)	【報告事項】 ・令和3年度ひきこもり支援事業報告 ・各部会の報告 【協議事項】 ・令和4年度ひきこもり支援事業計画(案) ・ひきこもり支援フォーラム実行委員会の設置
第2回 10月7日(金)	【報告事項】 ・令和3年度ひきこもり支援事業中間報告について ・各部会の報告 【協議事項】 ・令和5年度ひきこもり支援事業計画(案)について ・総社市ひきこもり支援フォーラムについて

• 支援者養成部会

開催日	内 容
第 1 回 5 月 26 日（木）	【報告事項】 ・ひきこもりサポーターほっともの会活動について 【協議事項】 ・ピアサポーター育成について ・令和 4 年度ひきこもりサポーター養成講座（案） ・フォローアップ研修について
第 2 回 3 月 8 日（水）	【報告事項】 ・令和 4 年度ひきこもりサポーター養成講座について ・ピアサポーター育成について 【協議事項】 ・令和 5 年度ひきこもりサポーター養成講座について ・令和 5 年度フォローアップ研修について

• 社会参加推進部会

開催日	内 容
第 1 回 7 月 19 日（火）	【報告事項】 ・居場所活動報告について ・社会参加状況について 【協議事項】 ・社会参加の場の一覧作成について ・今後の部会の取り組みについて
第 2 回 3 月 22 日（水）	【報告事項】 ・居場所活動報告について ・社会参加状況について 【協議事項】 ・社会参加の場の一覧作成について

• 就労支援部会

開催日	内 容
第 1 回 9 月 7 日（水）	【報告事項】 ・就労準備支援事業 ・ふくしネットそうじゃ仕事応援事業 【協議事項】 ・就労における課題
第 2 回 3 月 29 日（水）	【報告事項】 ・前回までの振り返り ・就労準備支援事業の利用状況について ・農福連携について 【協議事項】 ・就労体験の確認書作成について

(3) ひきこもりサポーター養成講座の実施

地域の方等を対象に、ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やその家族の支え手として居場所づくり・運営等に協力いただけるサポーターを養成するために開催した。

開催日	内 容
第 1 回 9月3日(土)	<p>【講義】 「ひきこもりとは～理解と支援～」 講師：岡山県立大学保健福祉学科 特任准教授 周防 美智子 氏</p> <p>【事業説明】 「ひきこもり支援事業～総社市におけるひきこもり支援の取り組みについて～」 発表者：総社市保健福祉部福祉課 主幹 林 輝昭 氏 「総社市ひきこもり支援センターワンタッチの取り組み」 発表者：総社市ひきこもり支援センター ひきこもり支援員 山口 光司</p>
第 2 回 9月10日(土)	<p>【講義】 「ひきこもっている人の気持ち～本人・家族の思いから～」 講師：岡山高等学院 理事 水野 文一郎 氏</p> <p>【発表】 「ひきこもり経験者の方から」 発表者：山村エンタープライズ(当事者)、 総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」</p> <p>【講義】 「人を支援するうえで心がけること」 講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学科 講師 直島 克樹 氏</p>
第 3 回 9月17日(土)	<p>【講義】 「ひきこもりの理解と支援 居場所支援とピアサポート考えてみよう」 講師：NPO 法人あかね 代表理事 中山 遼 氏</p> <p>【発表】 「ひきこもりサポーター“ほっとも”の活動内容発表」 発表者：ひきこもりサポーター「ほっとも」の会 会長 中倉 隆巨 氏</p> <p>【グループワーク】 「私たちにできるひきこもり支援を考えましょう～身近な地域でのサポート～」 コーディネーター：岡山県立大学 保健福祉学部 特任准教授 周防 美智子 氏</p>

○参加者数：37人

	会 場	オンライン	録画視聴	市民公開講座
第 1 回	16	7	13	8
第 2 回	14	3	17	
第 3 回	16	7		

○登録者数

- ・延 91 人（内、本年度登録者 6 人）

性別	男	女
人数	22	69

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	0	11	4	12	14	31	17	2

（４）ピアサポーター育成

「ひきこもり」当事者及び、経験者を対象に、同じ経験をした立場からひきこもり当事者を「居場所」やボランティアの場で支援するサポーターを目指すことを目的としている。

実施：2 件

（５）ひきこもりサポーターへの活動支援

ひきこもりサポーターのスキルアップを図ることを目的として、日頃の活動を行う上での困りごと解決のための研修を開催。また、サポーターの活動内容を検討することを目的として、隔月 1 回ひきこもりサポーター定例ミーティングを開催した。

- ・ひきこもりサポーターフォローアップ研修

開催日	内 容	参 加
第 1 回 8 月 8 日（月）	<p>【講義】 「ひきこもり支援～当事者と関わる時に大切にしたいこと～」 講師：岡山県精神保健福祉センター ひきこもり支援コーディネーター 葉山 朝子 氏</p> <p>【事例検討】 事例提供者：岡山県備中保健所 保健課 心の保健福祉班 総括副参事 登尾 亜子 氏</p>	6 人
第 2 回 12 月 17 日（土）	総社市ひきこもり支援フォーラム	19 人

・ひきこもりサポーター定例ミーティング

開催日	内 容	参 加
第 1 回 4 月 20 日（水）	・ 総会	23 人
第 2 回 6 月 20 日（月）	・ 係活動について ・ 個別活動について	15 人
第 3 回 8 月 22 日（月）	・ 係活動について	10 人
第 4 回 10 月 24 日（月）	・ 居場所当番について ・ ハートフルそうじゃについて ・ ひきこもりサポーター交流研修会について ・ 係活動について	15 人
第 5 回 12 月 20 日（火）	・ ハートフルそうじゃについて ・ ひきこもりサポーター交流研修会について ・ 係活動について	14 人
第 6 回 2 月 21 日（火）	・ クリスマス会について ・ 農園の活用について	9 人
第 7 回 3 月 17 日（金）	・ 農園の活用について ・ 今年度の振り返り	10 人

(6) 居場所「ほっとタッチ」「ほっとタッチぼえむ」の設置、運営

・ 常設居場所

【ほっとタッチ】

- ・ 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）15：00～17：00 で開所
- ・ 開所日数年間 243 日
- ・ 延来所者数 870 人
（男性 812 人：93.4%、女性 57 人：6.6%）
- ・ 実来所者数 17 人（男性 6 人、女性 11 人）
- ・ 一日平均来所数 3.6 人

（延）

年代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	不明
人数	1	112	165	538	1	52	0	1

・ ほっともイベント

ほっともカフェ、クリスマス会を開催

・ 個別活動

内職作業、畑作業、花植え、ギター練習、調理を実施

【ほっとタッチぼえむ】

- ・ 開所日数年間 48 日
- ・ 延来所者数 84 人（男性 44 人：52.4%、女性 40 人：47.6%）
- ・ 実来所者数 5 人（男性 2 人、女性 3 人）

- 一日平均来所数 1.8 人

(延)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	0	4	7	0	72	0	1

- イベント

調理（お菓子作り、昼食作り）を実施

- 夜間居場所「日陰の集い」（18：30～20：30）

ひきこもり当事者のうち、暗くなってからでないと外出できない方や若年層が集える機会を設けるため、毎月最終金曜日と不定期に数回「日陰の集い」と称して NPO 法人あかねに業務委託し開催した。参加者同士のコミュニケーションも図られ、参加者が主体となり活動をしている様子もみられている。

- 場所 ほっとタッチ

- 開催回数 16 回

- 延参加人数 63 人（男性 59 人：93.7%、女性 4 人：6.3%）

- 実参加人数 7 人（男性 5 人、女性 2 人）

- 1 回平均参加人数 3.9 人

(延)

年代	10代	20代
人数	6	57

- 実施内容

自分の好きな物のプレゼン、クリスマス会、お菓子作りなど

(7) ひきこもり家族会への支援

ひきこもり状態にある方の家族（両親・きょうだい・親戚）を対象とした、情報交換、研修機会等を行い、「ひきこもり家族会」が自主運営化されるよう支援した。

○11月は美作市のひきこもり当事者がシェアハウスしているNPO法人山村エンタープライズに見学に行っている。3月はNPO法人岡山高等学院の水野先生をお呼びし、研修会を実施した。

○毎月、第3木曜日に居場所「ほっとタッチ」にて定例会を開催した。定例会以外にも家族会レモンと称し自主的な交流会などを自主的な交流会などを9回開催、家族間の交流できる場が増えている。

○家族会で広報誌を作成した。

・ひきこもり家族会（会員数：正会員 13 家族（14 人）賛助会員 1 人）

開催日	内 容	参加
第 1 回 4 月 21 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総会 ・ 山村エンタープライズ見学会について ・ ほっとタッチの会だより 2 号の発行について ・ 茶話会 	10 人
第 2 回 5 月 19 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山村エンタープライズ見学会について ・ 茶話会 	7 人
第 3 回 6 月 16 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ サポーターとの交流会について ・ 茶話会 	9 人 見学 1 人
第 4 回 7 月 21 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひきこもり支援センター事例紹介 ・ 茶話会 	8 人
第 5 回 8 月 18 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山村エンタープライズ見学会について ・ 茶話会 	6 人
第 6 回 9 月 15 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山村エンタープライズ見学会について ・ 家族会交流研修会について ・ 茶話会 	8 人
第 7 回 10 月 20 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山村エンタープライズ見学会について ・ 家族会研修会について ・ 茶話会 	4 人
第 8 回 12 月 15 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族会研修会について ・ 家族会「ほっとタッチの会」新聞について ・ 茶話会 	8 人
第 9 回 令和 5 年 1 月 19 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族会研修会について ・ 令和 5 年度スケジュールについて ・ 家族会「ほっとタッチの会」新聞について ・ 茶話会 	8 人
第 10 回 2 月 16 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族会研修会について ・ 家族会「ほっとタッチの会」新聞について 	6 人
第 11 回 3 月 13 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族会研修会 <p>「困っていること、知りたいことについてみんなで考えてみよう」 講師：水野 文一郎（NPO 法人岡山高等学院）</p>	8 人

・ひきこもり家族会の活動紹介等

開催日	内 容
9月10日(土)	・第2回 ひきこもりサポーター養成講座 難波会長 発表
11月17日(木)	・山村エンタープライズ見学会

(8) ひきこもり支援センター5周年記念フォーラムの開催

開催日 12月17日(土) 13:00~16:00

場 所 岡山県立大学 学部共通棟 大講義室

内 容 基調講演:「地域で支えるひきこもり支援」

講 師: NPO 法人スチューデント・サポート・フェイス

代表理事 谷口 仁史 氏

実践発表:「誰もが安心して社会参加できる地域を目指して

～地域ですすめる多様な社会参加～」

発 表 者: ・総社市ひきこもりサポーター「ほっとも」の会

会長 中倉 隆巨 氏

・NPO 法人あかね 代表理事 中山 遼 氏

・社会福法人社会貢献活動推進協議会

会長 守安 伸聡 氏(社会福祉法人雪舟福祉会

シルバーセンターセレーノ総社 事務長)

・有限会社アグリ元気岡山 農マル園芸

統括部部長兼吉備路農園長 山下 純也 氏

コーディネーター:岡山県立大学 保健福祉学部

特任准教授 周防 美智子 氏

コメンテーター: NPO 法人スチューデント・サポート・フェイス

代表理事 谷口 仁史 氏

参加者:(会場)107人、(録画視聴)52人

(9) ひきこもり者現状確認と地域との連携強化

6月、11月に市内14地区民生委員児童委員協議会定例会に担当職員が出席し、本センターの支援状況の報告をした。秦地区小地域ケア会議にも参加し、ひきこもり支援センターの取り組みや地域住民の関わりについて話をし、地域における見守り意識の向上とセンターへの相談の促進を図った。

(10) 教育・福祉・保健医療の連携強化

○7月に不登校をきっかけとしてひきこもりとなることが想定される対象者についての意見交換会を、学校教育課、健康医療課、こども課、備中保健所、教育支援センター、スクールソーシャルワーカー、教育相談コーディネーター、ひきこもり支援センターで実施。

- 学校やスクールソーシャルワーカーから卒業生などの引継ぎを 3 件受けている。また市内の高校からは、不登校のケース 2 件の連携依頼を受け、支援を実施。
- 保健医療とは毎月のひきこもりケース検討会で備中保健所や健康医療課とケースの共有、支援の検討を行い、連携を図った。またケースに応じては個別での相談をしており、連携して支援にあたっている。

(11) 周知啓発活動の実施

ひきこもり当事者やその家族をはじめ、広く一般市民、地域の関係者等へ「ひきこもり」への理解と、「ひきこもり支援センター」が行う「ひきこもり」の相談支援や社会参加支援等について周知啓発を行った。

- チラシ：地域包括支援センター、介護関係事業所、障がい児童関係、医療機関、金融機関、不動産業者へ郵送で配布
- カード型リーフレットの配布
市内コンビニ（セブンイレブン・ファミリーマート・ローソン）、銀行（中国銀行、吉備信用金庫、トマト銀行）に設置
- 若者向けチラシの配布：学校教育課を通じて市内学校に配布
- 社協だより：3回（家族会の活動、ひきこもりサポーター養成講座の報告、ひきこもり支援フォーラムの開催）
- ホームページ：ひきこもりサポーター養成講座、ひきこもり支援フォーラムの情報を発信
- Facebook：居場所の活動や養成講座、フォーラムなどの情報発信
- 「ひきこもり支援・総社のあゆみ～行政と社協の協働体制 2021」版を通販・手渡して 101 冊販売（通販：27 冊 手渡し：74 冊）
「ひきこもりサポーター養成テキスト」を通販・手渡して 139 冊販売（通販：60 冊手渡し：79 冊）

(12) 視察・講演等

本センターの立ち上げから現在までの活動を、他県他市町村からの視察および講演で発表した。

- ・笠岡市ひきこもりフォーラム講演 7月1日
- ・京都府民生委員児童委員協議会視察 7月6日
- ・美作市小坂田ゼミ生視察 7月13日
- ・豊田市議会視察 7月20日
- ・滋賀県守山市社会福祉協議会視察 8月3日
- ・真庭市久世地区人権教育推進委員会合同研修会 8月28日
- ・越前市地域公益活動推進協議会 9月15日
- ・鳥取伯耆町議会視察 10月19日
- ・三重県亀山市視察 10月27日
- ・静岡県社協視察 10月28日

- 埼玉県久喜市議会視察 11月7日
- 奈良県宇陀市議 視察 1月18日
- 稲沢市社会福祉協議会視察 2月10日
- 美作市社会福祉協議会視察 3月1日
- 北海道ひきこもり研修講師 3月7日
- 所沢市社会福祉協議会視察 3月13日
- ひきこもりに関する地域社会に向けた普及啓発・情報発信事業 企画委員会
(8月4日、8月19日、9月14日、10月14日、12月6日、1月25日、
3月8日)

13. 在宅福祉サービス事業

(1) 介護保険事業（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の実施

- ① 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
 - ・利用者数 延 1,855 人（月平均 155 人）
 - ・介護支援専門員 5 人
 - ・要介護認定調査 延 1 人（月平均 1 人）

- ② 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延 656 人（月平均 55 人）
 - ・ホームヘルパー（常勤 6 人・嘱託 1 人・登録 29 人）
 - ・援助内容 身体介護、生活援助

- ③ 介護予防日常生活支援総合事業（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延 617 人（月平均 51 人）
 - ・ホームヘルパー（常勤 6 人・嘱託 1 人・登録 29 人）
 - ・援助内容 身体介護、生活援助

(2) 障がい福祉サービス事業（相談支援、支援区分認定調査、居宅介護【ホームヘルパー】）の実施

- ① 指定特定相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延 798 人（月平均 67 人）
 - ・相談支援専門員 6 人

- ② 指定障がい児相談支援事業の実施
 - ・利用者数 延 452 人（月平均 38 人）

- ③ 障害支援区分認定調査の実施
 - ・利用者数 延 142 人（月平均 12 人）

- ④ 居宅介護事業の実ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 延 623 人（月平均 52 人）
 - ・援助内容 身体介護、家事援助、同行援護、相談、助言等

- ⑤ 障がい者（児）移動支援事業の実施（ホームヘルパー派遣）
 - ・利用者数 2 人

(3) 車イス貸出し事業の実施

- ・車いすの貸出し（介護保険外）70 件

14. 福祉センター等管理運営事業

(1) 総社市総合福祉センターの管理運営

地域福祉活動の拠点として、福祉団体等への部屋の貸出をするとともに、福祉相談の実施、福祉サービスの提供及び啓発に努めた。

	R4	R3	R2	R1	H30
利用回数	1,301回	1,265回	1,341回	1,321回	922回
利用者数	31,452人	22,259人	29,150人	39,531人	46,477人

(2) やすらぎの家、さんあいの家、ひだまりの家、山手ふれあいセンターの指定管理

・やすらぎの家

	R4	R3	R2	R1	H30
利用回数	202回	141回	155回	245回	227回
利用者数	2,566人	2,080人	2,601人	4,211人	3,977人

・さんあいの家

	R4	R3	R2	R1	H30
利用回数	569回	448回	505回	614回	503回
利用者数	4,897人	4,090人	4,812人	6,885人	5,613人

・ひだまりの家

	R4	R3	R2	R1	H30
利用回数	421回	280回	293回	290回	263回
利用者数	5,611人	3,838人	4,267人	6,199人	6,434人

・山手ふれあいセンター

	R4	R3	R2	R1	H30
利用回数	378回	249回	218回	412回	494回
利用者数	5,229人	2,156人	2,087人	4,081人	6,477人

15. 共同募金・歳末たすけあい運動の実施

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金の実施

① 共同募金実績額 9,317,298 円 (R3 9,502,283 円)

地区	戸別募金	街頭募金	法人募金	学校募金	協力店募金
総社	2,181,649 円		181,000 円	30,064 円	2,666 円
常盤	1,082,800 円		86,800 円	29,092 円	21,400 円
池田	214,400 円		31,000 円	2,615 円	100 円
清音	787,700 円		65,000 円	8,018 円	1,343 円
三須	332,500 円		20,000 円	2,537 円	4,654 円
服部	392,172 円		75,000 円	13,903 円	
阿曾	377,650 円		20,000 円	3,663 円	1,688 円
山手	713,520 円		67,000 円	20,330 円	7,135 円
秦	333,600 円		16,000 円	18,103 円	751 円
神在	248,410 円		36,000 円	4,479 円	
久代	335,210 円			9,419 円	5,536 円
山田	124,900 円			721 円	
新本	223,400 円		10,000 円	1,530 円	555 円
昭和	527,900 円			7,950 円	101 円
事務局		47,749 円	3,000 円		19,558 円
計	7,875,811 円	47,749 円	610,800 円	152,424 円	65,487 円

地区	イベント募金	職域募金	個人・バッチ	合計
総社			75,400 円	2,470,779 円
常盤			22,800 円	1,242,892 円
池田			12,000 円	260,115 円
清音			22,800 円	884,861 円
三須			1,200 円	360,891 円
服部			27,600 円	508,675 円
阿曾			5,600 円	408,601 円
山手			47,600 円	855,585 円
秦			20,800 円	389,254 円
神在			6,000 円	294,889 円
久代			5,600 円	355,765 円
山田			2,800 円	128,421 円
新本			7,200 円	242,685 円
昭和			18,400 円	554,351 円
事務局	9,138 円	241,800 円	38,289 円	359,534 円
計	9,138 円	241,800 円	314,089 円	9,317,298 円

② 歳末たすけあい募金 募金実績額 100,000 円

(2) 共同募金事業の実施

① 共同募金ポスターコンクールの開催

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象に「みんなで支えあう 明るく
住みよい 心豊かな福祉のまちづくり」をイメージするポスター作品を募集しまし
た。

121作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞10点が選ばれました。

運動がスタートした10月3日には、リブ総社店にて授賞式を行い、受賞者には賞
状と記念品を贈呈しました。

② 赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業の推進

令和3年度より公募方式による共同募金からの助成の「赤い羽根まちづくり福祉
活動助成事業」(90万円)について、引き続き積極的に取り組んだ。

「赤い羽根 福祉でまちづくり助成事業」

団体	事業名	事業概要
常盤 地区社協	防災・減災に向けた取 り組み(防災訓練)	<ul style="list-style-type: none"> 日赤救急指導員を講師に招いて、傷や怪我の手当、止血の仕方等を三角巾の使用方法を学び災害時の心得を学んだ。 非常食(パン)の試食会を実施した。
池田 地区社協	池田地区三世代ふれあ い活動及び地域見守り 強化事業	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者から児童・園児へ、児童・園児から高齢者へ、お互いに学び交流を図った。 コロナ禍における対象者への見守りを強化した。
清音 地区社協	清音いきいき健康福祉 まつり	<ul style="list-style-type: none"> 福祉作文・ポスターコンクール表彰式を実施した。 多世代交流、地域づくりのきっかけをつくった。
服部 地区社協	もしもの時に備えたい!! 「いのちのバトン」で 安心安全	<ul style="list-style-type: none"> 地域での見守りが必要とされる高齢者、障がい者等の自宅に「いのちのバトン」を設置した。 民生委員・児童委員だけでなく、福祉委員、県立大学の学生等とも協力して行った。
山手 地区社協	やまて なかよしウォ ーキング	<ul style="list-style-type: none"> 幼児から高齢者までを対象に、宿地区の史跡や国分寺を巡りながら地域を学んだ。 地域めぐりやボランティアの学生とゲームなどして世代間の交流を図った。
秦 地区社協	秦、3世代ふれあい市	<ul style="list-style-type: none"> 地元子どもたちを中心とした催し物や出店などを通して、世代間や住民同士の交流を図った。
神在 地区社協	神在小学校・昔遊び・地 域住民との交流会	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援活動を通じて、こどもたちと地域住民との交流を図った。
久代 地区社協	久代地区全世代ふれあ いフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> 久代地区民を中心とした全世代にわたる方に参加を募り、新型コロナウイルスによって停滞した地区民のコミュニケーションを取戻し、地区の活性化を図った。
新本 地区社協	みんなで散歩会	<ul style="list-style-type: none"> 散歩コース(新本分館周辺)と参拝コース(石鎚山散策)を設け、各々に合ったコースに参加してもらった。多世代交流で体を動かし、楽しんだ。

団体	事業名	事業概要
昭和 地区社協	五つ星学園 こどもまつり	<ul style="list-style-type: none"> 五つ星学園の園児・児童・生徒による調査研究等の成果を発表した。 参加者同士の親睦を図った。
総社南地区小地域 ケア会議	総社南地区買い物ガイド 作成配布	<ul style="list-style-type: none"> 総社南地区及び周辺にあるお店の情報を高齢者や障がい者の視点から紹介した冊子を作成した。 高校生の社会貢献活動の場の提供として、表紙や地図等を依頼した。
そうじゃ 食堂くう ねるあそ び	「見て聞いて子どもの みんなへ子どもだった みんなへ」 テーマ「さいがい」	<ul style="list-style-type: none"> 市内 15 小学校の児童に、テーマ「さいがい」に沿った絵や気持ちを言葉にした作品を募集するチラシを配布した。 すべての応募作品を作品集にして各校の図書館に寄贈した。
上三輪中 町内会	ときわ公園北側花壇 (総社市駅南 1-75)緑 化・美化事業	<ul style="list-style-type: none"> 花壇の除草、施肥、花植えを行い、ときわ公園周辺の緑化、美化を図った。 事業を通じて町内住民の親睦融和、助けあい活動の一助とした。
やまてっ 子ひだま りカフェ	こども食堂 de バケツ 稲づくり・さつま芋づ くり挑戦！（食育）	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂の活動の中で、お米や野菜などの食物を育てる経験を通じて、こどもたちが健全な食生活を実現することができるよう働きかけた。 食育活動を地域住民と一緒にすることによって、地域住民との絆づくりや地域への愛着形成を図った。
えんがわ サロン	「地域の集いの場づく り」三世代みんなで楽 しむ会	<ul style="list-style-type: none"> こどもから高齢者まで誰でも参加できる「集いの場」を開催した。
山田プロ ジェクト 実行委員 会	菊池邸で三世代交流、 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 親子、お年寄りとのふれあいの機会を作った。 夏休みの寺子屋を開設した。
山田べん りーな	山田べんりーな事業	<ul style="list-style-type: none"> 山田地区内の 70 歳以上独居及び高齢者世帯の困りごとに対する生活支援を実施した。 県立大学学生の支援を受け、高齢者の生活実態を把握した。
地域食堂 Dining Minna	地域食堂 Dining Minna & 竹あ かり制作ワークショッ プ	<ul style="list-style-type: none"> 世代を超えた地域住民が集うことで、地域のつながり、世代間交流のきっかけをつくった。
美袋駅前 活性化委 員会	美袋駅前活性化（「憩い の場」設置事業）	<ul style="list-style-type: none"> 美袋駅、大黒屋、昭和公民館等の利用者が「憩いの場」として自由に利用でき、コミュニケーションを図った。 地産品の販売等により地域の活性化を図った。
あそびの きち おひさま	子どもと地域を結ぶ事 業（おひさま）	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者へ子どもたち手作りの工作をプレゼント（配布）した。 高齢者へ見守りを兼ねてお弁当を配布し、その時に子どもたちのメッセージを添えた。

(3) 歳末たすけあい事業の実施（寝たきり者への友愛訪問事業）

- ・在宅で寝たきりの方（57人）にバスタオルを持参して友愛訪問活動を実施

16. 赤十字事業

(1) 日赤活動資金増強運動の推進

- ・会員増強運動月間（5月）

（令和4年度会費納入状況）

地区名	会員数	実績額
総社	3,081件	2,245,000円
常盤	1,307件	1,190,100円
池田	329件	302,000円
清音	905件	799,500円
三須	509件	630,000円
服部	566件	545,700円
阿曾	473件	424,000円
山手	447件	522,500円
秦	449件	386,800円
神在	409件	331,700円
久代	722件	541,500円
山田	197件	180,000円
新本	396件	328,000円
昭和	768件	667,000円
事務局	2件	11,000円
計	10,560件	9,104,800円

※県支部指示目標額 6,935,000円に対して、実績額 9,104,800円(131.3%)

R3 実績額 9,300,138円 (▲195,338円)

(2) 災害救援事業の実施

○災害被災者の救護

- ・見舞金（総社市地区独自）3件（火災：総社、久代、服部）
- ・救援物資4件（火災：総社（2件）、久代、服部）

(3) 赤十字事業普及のための広報活動

- ・地域のイベントに参加し日赤活動のPR
- ・地域活動において救護班として参加
- ・地域の災害時の炊き出し訓練に奉仕団員が指導

17. 災害救援活動、災害救援募金の実施

日本赤十字社及び共同募金会から依頼のあった災害義援金について、指定募金として対応した。

《ウクライナ人道危機救援金》 87,549 円

《2023年トルコ・シリア地震救援金》 91,039 円

※以上の義援金・救援金は本地区を通じて、岡山県支部へ送金

18. 社会福祉・介護福祉現場実習生の指導

① 社会福祉援助技術現場実習の受け入れ

- ・岡山県立大学 3人

② 社会福祉士養成校での講義等

- ・岡山県立大学（ソーシャルワーク実習指導Ⅰ）

19. 視察研修等の受入

No	視察研修等受け入れ先	日程
1	京都府民生児童委員協議会	7月 6日（水）
2	美作大学 小坂田ゼミ生	7月 13日（水）
3	守山市社会福祉協議会	8月 3日（水）
4	ペルー国家防災庁及びアムダ	8月 22日（月）
5	菊陽町民生委員児童委員協議会	9月 7日（水）
6	与謝野町民生委員児童委員協議会	9月 9日（金）
7	越前市地域公益活動推進協議会	9月 15日（木）
8	瀬戸内市社会福祉協議会 美和地区社会福祉協議会	10月 12日（水）
9	静岡県社会福祉協議会	10月 28日（金）
10	霧島市社会福祉協議会 成年後見センター	11月 22日（火）
11	東京都中央区民生委員児童委員協議会	11月 28日（月）
12	吉備中央町社会福祉協議会 大和地区社会福祉協議会	2月 10日（金）
13	稲沢市社会福祉協議会	2月 10日（金）
14	美作市社会福祉協議会	3月 1日（水）
15	所沢市社会福祉協議会	3月 13日（月）

20. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

(外部委員等への就任状況)

No	関連委員等	担当
1	総社市総合計画審議会 委員	風早会長
2	総社市地域公共交通会議 委員	風早会長
3	総社市全国屈指福祉会議 委員	風早会長
4	総社市表彰審査会 委員	風早会長
5	総社市市民憲章を唱和・実践する会 副会長	風早会長
6	総社市民生委員児童委員推薦委員会 会長	風早会長
7	総社市文化振興財団 評議員	風早会長
8	岡山県共同募金会 理事	風早会長
9	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会 副会長	吉岡次長
10	総社市要保護児童対策地域協議会 副会長	佐野事務局長
11	岡山県社会福祉経営支援委員会 委員	佐野事務局長
12	岡山県地域公益活動推進協議会 委員	佐野事務局長
13	総社市営住宅入居者選考委員会	吉岡次長
14	地域学校協働活動推進協議会（総社高校）委員	吉岡次長
15	総社市自殺対策連絡協議会 委員長	山田課長

21. 人材育成基本方針策定

社協職員として求められる人材像や資質向上を図るために、研修体系の見直しや人材育成のしくみを整備し、職員一人ひとりが目指すべき職員像の目標を明確にして日々の業務にあたることができるように方針を定めた。

22. 重層的支援体制整備移行準備事業

「断らない相談支援」「社会とのつながりや参加の支援」「地域やコミュニティにおける支え合う関係性の育成支援」を構築するための研究及び検討事業を実施。

- ① 重層的支援体制整備準備委員会の開催：2回
- ② 市保健福祉部との協議（ワーキンググループへの参加）：6回
- ③ 包括的相談支援体制、多機関協働事業の検討
 - ・「相談支援に関する機関連携の充実に向けた研修会」の開催：2回
講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 准教授 中尾 竜二 氏
参加者：延べ 88 人
 - ・「多機関協働に向けた重層的支援会議（模擬会議）」の開催：2回
アドバイザー：コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 氏
参加者：延べ 68 人
- ④ 重層的支援コーディネーターの配置

- 権利擁護センターおよび障がい者基幹相談支援センター兼務：各 1 人
- 複合的課題のあるケースへの対応：15 世帯（延べ相談件数：1,325 件）